



# 保健だより

No.7

平成30年10月19日  
多摩市立豊ヶ丘小学校  
校長 小畑 行広  
主任養護教諭 新井あづ紗



## ～～～感染症情報～～～

今月に入り、運動会の疲れや気温差からか、体調を崩している児童が増えています。

今月の校内での感染症罹患者数（治癒した児童を含む）は、10月18日現在、

- ・溶連菌感染症 2名
- ・感染性胃腸炎 1名
- ・マイコプラズマ肺炎 2名 となっております。

マイコプラズマ肺炎は、「なんだか長く咳が続く」と受診して、判明することが多い感染症です。咳が長引く・夜間に激しい咳が出る等の症状がある場合は、受診してください。また、受診の際は、学校で罹患者が数名出ている旨を伝えてください。出席停止の扱いになりますので、罹患した場合は必ず学校にご連絡ください。登校する場合は登校許可証が必要です。感染症予防のために、手洗い・うがいの励行をお願いします。

## ▼マイコプラズマ肺炎▼

最初は風邪と似た症状が現れ、1～2日遅れて咳が出始め、1ヵ月くらいしつこく続くのが特徴です。特に早朝や就寝前に、ひどく咳込む傾向があります。咳が長引き、なかなか改善されない場合は治療薬があるので受診をしましょう。潜伏期間（14日～21日）が長く、感染源の特定は困難ですが、熱やアルコールに弱いので、消毒薬を使用することで予防ができます。

咳で感染が広がるため、手洗い・うがいなどもこまめに行いましょう。また、風邪やインフルエンザと同様、免疫力が弱っている時にかかりやすいので、栄養や睡眠をしっかりととり、規則正しい生活を心がけましょう。



※咳が出ている場合はマスクを着用させてください。